

氷川神社
社報 第十六号

武蔵一宮



年頭にあたり

令和三年辛丑みづしの年頭にあたり、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄、国家の隆昌をお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、それまで当たり前であった生活が一変する年でした。現在においても、その状況は続き、ワクチンや特效薬が開発されるまでは収まりそうもありません。一刻も早く事態が収束し安心して暮らせる日が来る事を切に祈る次第です。

さて、本年は明治新政府が封建割拠の旧態を解体するため、明治四年七月に断行した廃藩置県から一五〇年にあたります。埼玉県は当初、浦和県、忍県、岩槻県などに分かれておりましたが、十一月には現県域に埼玉県と入間県が誕生し、明治九年に合併して埼玉県となっております。県庁では一五〇周年を祝う様々なイベントが計画されており、当社と致しましてもこれを契機として、埼玉県がますます発展致しますよう御協力させて頂きたいと存じます。

昨秋より、初詣は分散参拝して頂くようお願いし、皆様の御協力のお蔭をもちまして、三が日は例年の三割程の混雑で大過なくお迎えする事が出来ました。謹んで御礼申し上げます。新玉の年が皆様にとりまして平穏で幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

1月1日の境内



神橋前



拝殿前



日中の本殿祈祷



拝殿前



神札所前



手水舎閉鎖(15日まで)



新年奉祝
献灯



点灯式



県庁 寄付金進呈

今般、疫病退散を祈願するとともに、新年を奉祝するため募集した献灯は、約千三百張の御協賛を頂き、点灯式が行われた十一月三十日から参道を賑々しく照らしております。

例年は、三が日の参道には約三百軒の露店が並んでおりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年は出店中止となりました。常夜灯だけでは照明が不足するため、本年度の献灯は参道に設置する事となりました。

感染症対策にあたっては、埼玉県神社庁とともに、「変わらない祈りのために」キャンペーンを行い、各メディアへの周知や動画を作成致しました。

諸経費を引いた奉賛金は、12月24日、県庁にて権宮司より大野県知事に進呈致しました。

祭事曆

当社では毎日の日供祭以外にも年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

十月 一日 月次祭

九日 抜穂神事

十五日 献詠祭(兼題 献灯)

十七日 神嘗奉祝祭

二十一日 朔瓶祭

十一月 一日 月次祭

教育勅語百三拾年

記念祭

三日 明治祭

十五日 献詠祭(兼題 参籠)

立皇嗣の礼奉告祭

二十三日 新嘗祭

敬神講社大祭

三十日

大湯祭前齋

十二月 九日

十日 大湯祭本祭

十一日 大湯祭後齋

誓詔祭・饗膳式

十五日 献詠祭(兼題 熊手)

煤払い

三十一日

大祓式

除夜祭



朔瓶祭神饌



抜穂神事神饌



大湯祭本祭



新嘗祭



饗膳式



大湯祭神饌 百味膳

「コロナ禍の中」

七五三詣

令和二年度の七五三詣は、皆様混雑を避けるため、十一月土日の参拝が少なくなり、平日や十月、十二月に分散する傾向にありました。

以前まで本殿で七五三祈禱を行う際には受付後、待合室内でお並び頂きましたが、密を避けるため、受付時に番号札を渡し、番号での案内方法に変更致しました。案内時間の短縮になりましたので、通常時や正月初詣時期にも番号札での案内方法に変更しております。

御祈禱で鈴振りを奉仕する巫女はマスク着用、職員の手指消毒の徹底、待合所や受付へのアルコール消毒液の設置、御祈禱用の座席の間隔を十分空ける等の対策を行い、大過なく皆様をお迎えする事が出来ました。

土日祝日及び平日の混雑時は御祈禱を随時行うとともに、人数制限の規制に御協力をお願い致しました。



待合室にアルコール消毒液設置



七五三態勢日の本殿での七五三祈禱



マスク着用での鈴振り奉仕

出張撮影

年々、外部カメラマンによる出張撮影が増加してきたため、令和二年七月より出張撮影にあたっては撮影許可申請書の提出を頂く事と致しました。七五三詣、初宮詣、成人式の前撮りなど、七月から十二月中頃までで約八百件の申請がございました。尚、一月からは撮影許可の申請は中断致します。出張撮影に関する申請は、ホームページお知らせ欄で御確認下さい。

紅葉の見ごろ

令和二年の紅葉の見ごろは十一月下旬から十二月上旬となりました。



「コロナ禍の中」

大湯祭

令和二年の大湯祭の祭典は例年通り行われましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から露店の出店が中止となりました（大宮警察による交通規制無し）。

感染症対策と致しましては、十二月十日のみ授与してあります福神札や富久財布、福種銭などは十一月三十日から授与を開始致しました。また、同じく十二月十日のみ、宗像神社では御家庭でお祀りされております二福神（大国様・恵毘須様）のお祓いを行ってりましたが、こちらも十一月三十日から実施致しました。

十二月十日の授与所は午前0時から開設、午前一時に一度閉鎖し、午前八時に開設、午後十時閉鎖となりました（午前一時～午前六時楼門閉門）。



12月10日 三の鳥居付近



12月9日前齋 篝火の前で火切り石を切る神職

大湯祭 百味膳
奉納御礼

（敬称略、順不同）

<ul style="list-style-type: none"> 百味膳 胡桃 生姜 鮑熨斗 雉子 草薺 鯉 鱈節 長芋 大和芋 	<ul style="list-style-type: none"> 三峯神社 大和田氏子中 島村恭一 魚志やう 獺友会 坂梨耕三 野口スポーツ商会 秩父神社 原田喜平 （株）鯉平 埼玉県南部漁業組合 （株）信濃屋 七里敬神講社 小川章 光江
--	---



露店商出店中止の案内

大湯祭 奉納御礼

（敬称略、順不同）

<ul style="list-style-type: none"> 御酒 御餅 魚 野菜 菓物 菓子 	<ul style="list-style-type: none"> 清水伸洋 福神講 （株）中村写真館 （株）電成社 （有）西一 丸三屋 大村庵 （有）春光社印刷 （株）和泉空調設備 大谷氷川神社氏子中 サントリー酒類（株） 福寿堂 高木知典 平野貞祐 七里敬神講社 蓮沼神明神社氏子中 菅原神社氏子中 大谷氷川神社氏子中 （株）みどり建設 よね屋煎餅店 	<ul style="list-style-type: none"> 御米 記 森田栄治 薄田守利 星野昇保 島村功作 蓮沼神明神社氏子中 <p>大湯祭に際し左記の奉納を頂きました。御篤志に厚く感謝申し上げます。</p>
---	--	---

社頭往来

宗像神社扁額奉納

十月十六日、宗像神社の社号額を奉納頂きました白倉さま様御参列のもと、奉納奉告式を執り行いました。



戦艦武蔵顕彰祭

十月二十四日午前十一時、戦艦武蔵顕彰祭を、戦艦武蔵顕彰会会長三原宏治氏始め約三十名参列のもと執り行いました。

武蔵菊花会菊花展

本年度で七十一回目を迎えた武蔵菊花会による菊花展は、十六枚花弁の菊花、大作りや懸崖、盆養、ダルマなど約四百五十鉢の菊花が展示されました。



敬神婦人会国旗小旗作り

十一月二十日、敬神婦人会の会員約八十名により国旗の小旗



新嘗祭奉納

作りが行われました。作業にあたっては手指消毒、マスク着用、十分に換気を行う等、対策を徹底して行いました。作成された二千本の小旗は一般財団法人日本文化興隆財団に送られ皇居での新年一般参賀等に活用されます。

十一月二十三日新嘗祭齋行にあたり、左記の奉納を頂きました。御篤志に厚く感謝申し上げます。(敬称略)

記

御米 島根水川神社

細沼武彦

関口達衛

野菜 (株)アルシエ 中島祥雄

八百屋菜根たん 三浦大輝

活花 草月流師範 長内恵



社頭往来

神宮大麻頒布式

十二月三日午前十時半、社務所にて神宮大麻頒布式が執り行われ、大野氏子総代会長に伊勢の神宮のお札が授与されました。



酒造組合醸造祈願祭

十二月四日午前十一時、松尾神社にて酒造組合醸造祈願祭が埼玉県酒造組合会長の(株)小山本家酒造代表取締役会長小山景市様、(株)小山本家酒造取締役理事

社長小松崎功様、大瀧酒造(株)大瀧榮壽様、北西酒造(株)代表取締役社長北西隆一郎様参列のもと執り行われました。尚、新たな酒樽の清祓は十五日に行われました。



居合兵法阿字会奉納演武

十二月六日、正式参拝の後、無双直伝英信流居合兵法阿字会井本忠昭阿司齋他会員の居合道の奉納演武がございました。



古神札焼納祭

十二月八日午前十時、古神札

の一部を前に古神札焼納祭を執り行いました。



ワイン樽奉納

十二月八日、額殿前にワイン樽奉納にあたり、秩父兔田ワイナリー正式参拝と樽の清祓が行われました。



武蔵菊花会表彰式

十二月十三日、呉竹荘にて武蔵菊花会の第七十一回菊花展の表彰式が行われました。氷川神社宮司賞の他、経済産業大臣賞や埼玉県知事賞等、多くの賞が授与されました。



すす払い

十二月十五日、献詠祭終了後本殿及び拝殿のすす払いが行われました。





太鼓奉納

この度、水川神社敬神講社より太鼓の奉納を頂きました。本殿奉式や正式参拝、本殿での七五三祈禱などで使用しております。御篤志に感謝申し上げます。



十月の奉納献華

古流松藤会 岩波理豊 桂古流 高橋典花
池坊 草谷智花 草月流 竹下尚峰
草月流 沖山草俊 正風流一光会 桐生一光
桂古流 小林華侑 春草流 栗原春彩



十一月の奉納献華

古流松藤会 岩波理豊 桂古流 高橋典花
池坊 草谷智花 草月流 竹下尚峰
草月流 沖山草俊 正風流一光会 桐生一光
桂古流 小林華侑 春草流 栗原春彩



十二月の奉納献華

古流松藤会 岩波理豊 草月流 沖山草俊 古流松藤会 川嶋理智
池坊 草谷智花 桂古流 小林華侑 桂古流 高橋典花

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。参道清掃のお申し出、お問い合わせは社務所までお願い致します。

(五十音順、敬称略)

- 阿含宗埼玉道場
- 大宮明るい社会づくりの会
- 住友生命保険相互会社関越育成室
- 高鼻二丁目友の会
- パーソルテンプスタッフ株式会社(さいたま市ジョブアシスト事業)
- みずほ証券株式会社

正式参拝及び諸会議

(敬称略)

- 十月 十日 武蔵菊花会展示会打合せ
- 十五日 正月・大湯祭交通安全対策会議
- 十八日 埼玉中央青年会議所
- 二十日 ボイラー協会安全祈願祭
- 二十九日 観月雅楽奉納演奏
- 十一月二日 初詣コロナ対策会議
- 十日 武蔵菊花会表彰式打合せ
- 十二月二日 全国神恩報賽会
- 六日 無双直伝英信流阿字会
- 八日 秩父兔田ワイナリー
- 十三日 武蔵菊花会
- 十五日 川越八幡宮氏子青年会
- 二十四日 埼玉県酒造組合
- 立正佼成会大宮教会
- 衆議院議員 牧原秀樹

コロナウイルス対策奉納御礼

- マスク消毒液 埼玉東和薬品(株)
- マスク (株)丸井紙店
- フェイスシールド 染合精機(株)

日本書紀編纂一三〇〇年⑤

おみくじ読み解き
(複数の伝承を組み合わせた意味です)

当社のおみくじは一番から五十番まであり古事記、日本書紀の伝承から事象や神名などを題としております。この解説では神名を日本書紀での表記にしております。
 ()はおみくじの番号と題です。

おみくじ五十番 神武天皇 御即位

初代の天皇である神武天皇は、うがやふきあえずのみこと 鸕鷀草葺不合尊とたまよりひめ 玉依姫との間に生まれました。御即位前のお名前はかひまほむれむのみこと 神日本磐余彦尊、またはひほほむのみこと 彦火火出見尊と申します。兄が三人おりますが、大変優秀であったため、十五歳の時に皇太子となりました。

四十五歳になると、東の方に大変美しい良い土地があると聞き、兄の五瀬命達と向かいました。この五瀬命は道中、ながむね 長髓彦と戦った折に受けた矢傷がもとで亡くなってしまいました。それでも軍を進めますが、たけがづののみ 武甕雷神より太刀を授けられた高倉下たかくら でした。山中で進路に迷った時には、天照大神が遣わした八咫鳥が導いてくれました。

苦戦しながらも戦いに勝ち続け、当初は従わなかった神たちを帰順させた神日本磐余彦尊は、かしばた 畝傍山の東南、かしばた 檀原の地に都を造る事を宣言し、御即位なされます。

これが我が国の始まり、皇紀元年の事でございます。



太刀を奉る高倉下



八咫鳥のお導き



檀原の宮で御即位

資料提供：埼玉神社庁 絵：菅原生氏

令和二年は日本書紀編纂一三〇〇年という節目の年でございました。これを記念して十二号より連載企画として、おみくじに標題として付けられている神名や事象の説明を兼ねて神話の説明をしてみました。

四回で終わらせず、五十番だけ残しましたのは、神武天皇御即位という事が一つの番号でまとめるには大きすぎるといふ事もあります。社報発行日の一月後には建国記念日を迎えるからです。

世界の国々では、その国の伝統や文化、歴史に由来した日を祝日として定めています。日本の祝日も古来の伝統や歴史を伝える日として、「国民の祝日に関する法律(昭和二十三年制定、平成二十九年改正)」が定められました。

建国記念日は、建国をしのび、国を愛する心を養う祝日です。しかしながら、その由来をしっかりと答えられる人はどれほどいるでしょうか。

二月十一日の由来は、日本書紀において神武天皇が檀原の宮に即位された日を太陽暦に換算して定められたものです。明治六年に「紀元節」として祝日となりましたが、戦後は一旦廃止されました。その後、多くの国民の声により、昭和四十一年にあらためて国民の祝日に加えられました。

日本は、世界で一番古く長い歴史を持ち、世界で唯一の神話が現在まで繋がる国家です。祝日の意味を正しく理解し、あらためて考えながら、国旗を掲げてお祝いし、伝えていきたいものです。

一月からの恒例行事について

防災訓練

文化財防火デーのある一月下旬には防災訓練を行っております。本年は規模を縮小し、一月二十二日(金)に実施予定です。訓練終了後まで(十時ごろ)、御祈禱は行えませので、御注意願います。

婚礼展示会

一月三十一日(日)に開催を予定しております。婚礼展示会は、現在の社会情勢を鑑み、一月の開催を見合わせる事となりました。今後の予定はホームページでお知らせする予定です。

節分

令和三年の立春は二月三日のため、節分は二月二日となります。節分祭は例年通り、十時齋行、祭典中には鳴弦の儀を執り行います。十二時半、二時、三時の撒豆式は密を避けるため中止、福引きも中止と致します。福豆

は一月四日より授与所にて授与しております(初穂料 三百円)。

埼玉県神社庁教化事業

「神主さんと神社を学ぼう」

例年、三月末に当社境内で開催しております埼玉県神社庁主催の教化事業は、本年中止と致します。西待合所で展示されます埼玉県内の神社の御朱印展も中止でございます。令和四年は開催予定です。

教化事業に関するお問い合わせは埼玉県神社庁までお願い致します。
048-643-3542(平日のみ、9:00~16:00)
HP : <http://www.saitama-jinjacho.or.jp/>

時期の授与品



御力守

(おちからまもり)

一月二十日〜



御守

(おさまもり)

三月二十日〜

コロナ禍のため来社の叶わない方へ

郵送祈禱の御案内

当社では、新型コロナウイルスの影響により来社の叶わない方に、郵送での御祈禱や神札の授与をお受けしております。御希望の方は、当社ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を御記入の上、初穂料・郵送料(一律五百円)を添えて現金書留にてお申し込み下さい。

現金書留が届きましたら、当社より確認の御連絡を致します。確認後、御神前にて御祈禱申し上げた御札、祈禱御守を御送付致します。申込書は一枚につき、一願種となります。お札やお守の申込書は別になりますので御注意下さい。

送り先 〒三三〇・〇八〇三

さいたま市大宮区高鼻町一・四〇七

氷川神社社務所



郵送祈禱の案内ページ
QRコード

令和3年の厄年(数え年)

数え年		前厄	本厄	後厄
男の厄	25才	平成10年	平成9年	平成8年
男の大厄	42才	昭和56年	昭和55年	昭和54年
男女厄	61才	昭和37年	昭和36年	昭和35年

数え年		前厄	本厄	後厄
女の厄	19才	平成16年	平成15年	平成14年
女の大厄	33才	平成2年	昭和64年 平成元	昭和63年
女の小厄	37才	昭和61年	昭和60年	昭和59年

令和3年の方位除(数え年)

中央(八方除)			北		北東		南西		
大正	11年	100才	大正	大正15年 昭和元	96才	昭和	大正	14年	97才
昭和	6年	91才	昭和	10年	87才	昭和	昭和	9年	88才
	15年	82才		19年	78才			18年	79才
	24年	73才		28年	69才			27年	70才
	33年	64才		37年	60才			36年	61才
	42年	55才		46年	51才			45年	52才
	51年	46才		55年	42才			54年	43才
	60年	37才		昭和64年 平成元	33才			63年	34才
平成	6年	28才	平成	10年	24才	平成	平成	9年	25才
	15年	19才	19年	15才	18年			16才	
	24年	10才	28年	6才	27年			7才	

第十七号は四月十五日発行予定です



MUSASHIICHINOMIYA.HIKAWA@G3YA

特別紙朱印「大湯祭 大国様(金)」、「大湯祭 恵毘須様(銀)」は11月30日より、令和3年正月特別紙朱印は1月1日より授与開始致しました。春の特別紙朱印の他、最新の御案内はホームページ、Instagramを御覧下さい。

発行 令和3年1月15日 発行所 氷川神社社務所

写真協力 工藤裕之 宮野信昭 中村写真館 印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>